

# 衛生・公衆衛生学 担当講座（分野）：口腔医学講座予防歯科学分野

第2学年 後期

後期 講義 18時間 演習 1.5時間 実習 9.0時間

## 一般目標（講義）

人間は様々な自然環境、社会環境の中に生存している。その摂理を理解することは国民の健康の保持増進に寄与しようとする医療人としては当然のことである。この国民の負託に応えられる歯科医師となるために必要な知識を習得し、態度を身につける。

## 講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月2日（月） 2限	岸光男准教授	<b>健康と予防の概念</b> 健康と予防の概念を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康の概念を説明できる。</li> <li>2. 口腔と全身の健康との関連を説明できる。</li> <li>3. 疾病の概念、種類および予防を概説できる。</li> <li>4. 第一次、第二次および第三次予防を説明できる。</li> <li>5. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。</li> </ol>
12月9日（月） 2限	相澤文恵助教	<b>地球環境と我が国の環境対策</b> 環境問題について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主な地球環境問題を列挙できる。</li> <li>2. 地球温暖化の影響を列挙できる。</li> <li>3. 日本の代表的公害事例を列挙できる。</li> <li>4. 環境基本法を概説できる。</li> </ol>
12月16日（月） 2限	相澤文恵助教	<b>環境と健康Ⅰ（気候・温熱・空気・照明）</b> 環境と健康との関わりを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気候図を説明できる。</li> <li>2. 温熱指標を説明できる。</li> <li>3. ホメオスタシスを説明できる。</li> <li>4. 主な感染症と気候の関係を説明できる。</li> <li>5. 空気の正常成分と異常成分を説明できる。</li> <li>6. 大気汚染物質による健康障害について説明できる。</li> <li>7. 騒音・振動による健康障害を説明できる。</li> </ol>
1月8日（水） 2限	相澤文恵助教	<b>環境と健康Ⅱ（飲料水・汚水・汚物）</b> 環境と健康との関わりを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活用水の取水から排水までの経路を説明できる。</li> <li>2. 浄水法を説明できる。</li> <li>3. 汚水・汚物と環境問題を概説できる。</li> <li>4. 汚水処理法を説明できる。</li> <li>5. 上下水道の水質基準を説明できる。</li> <li>6. 廃棄物処理法を概説できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月15日(水) 1限	岸光男准教授	<b>感染症の予防</b> 感染症について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症成立要素を説明できる。</li> <li>2. 感染症の歴史について概説できる。</li> <li>3. 感染症成立要素に応じた対策を説明できる。</li> <li>4. 感染症法を概説できる。</li> <li>5. 院内感染対策法を説明できる。</li> </ol>
1月15日(水) 2限	岸光男准教授	<b>非感染症の予防</b> 非感染症について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 非感染症の要因と成り立ちについて説明できる。</li> <li>2. 生活習慣病について説明できる。</li> <li>3. 四大生活習慣病（四大死因）について説明できる。</li> <li>4. 生活習慣病の予防について説明できる。</li> </ol>
1月16日(木) 3限	非常勤講師 米満正美先生	<b>人口問題 (静態人口・動態人口)</b> 人口と健康の関わりについて理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 我が国における人口の年次推移を説明できる。</li> <li>2. 人口静態統計を概説できる。</li> <li>3. 人口静態統計指標の定義と背景を説明できる。</li> <li>4. 人口動態統計を概説できる。</li> <li>5. 人口動態指標の定義と背景を説明できる。</li> <li>6. 各指標の最近の数値とその年次推移を概説できる。</li> </ol>
1月16日(木) 4限	相澤文恵助教	<b>疫学Ⅰ</b> 疫学について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疫学を定義できる。</li> <li>2. 病因とリスク要因の違いを説明できる。</li> <li>3. 記述疫学と分析疫学の違いを説明できる。</li> <li>4. 観察研究と介入研究の違いを説明できる。</li> <li>5. コホート研究と患者対象研究の違いを説明できる。</li> <li>6. 相対危険度、寄与危険度、オッズ比を説明できる。</li> </ol>
1月17日(金) 3限	岸光男准教授	<b>疫学Ⅱ</b> 疫学と科学的根拠に基づいた医療（EBM）の対応を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母集団と標本集団について説明できる。</li> <li>2. スクリーニング検査の意義を説明できる。</li> <li>3. スクリーニングの有効性の指標を説明できる。</li> <li>4. 特異度、感度を説明できる。</li> <li>5. EBMの意義と方法を説明できる。</li> <li>6. 臨床疫学的判断について説明できる。</li> </ol>
1月17日(金) 4限	岸光男准教授 相澤文恵助教	<b>疫学演習</b> 疫学指標の算出法について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられたデータからヒストグラム、円グラフを作成できる。</li> <li>2. 与えられたデータから、相対危険度、寄与危険度、オッズ比を算出できる。</li> <li>3. 与えられたデータから、特異度、感度を算出できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月20日(月) 2限	相澤文恵助教	<b>健康と食生活</b> 栄養と健康について理解する。	1. 健康と栄養との関係を概説できる。 2. 国民栄養の現状について説明できる。 3. 日本人の食事摂取基準について説明できる。 4. 食中毒について説明できる。 5. 特定保健用食品・栄養機能食品を説明できる。 6. 食品の安全性について説明できる。
1月27日(月) 2限	岸光男准教授	<b>保健医療統計Ⅰ</b> 保健医療統計を理解する。	1. 統計法について説明できる。 2. 主な保健医療統計(人口動態・静態統計、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、歯科疾患実態調査、学校保健統計)を説明できる。
1月29日(水) 2限	岸光男准教授	<b>保健医療統計Ⅱ</b> 保健医療統計の応用について理解する。	1. 調査結果の統計学的分析法(t検定、F検定、 $\chi^2$ 検定、相関係数、順位相関係数)を説明できる。 2. 主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率)を説明できる。

### 一般目標(実習)

歯科疾患の発生や進行には、単に口腔内要因のみでなく、人間をとりまく自然的、社会的、文化的要因が複雑に絡み合っている。衛生・公衆衛生実習では、自らその原理を追求する態度を養うとともに、衛生・公衆衛生の講義で修得した知識を深化させ、これらのことを総合して考え、実行する能力を身につける。

### 実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月8日(水) 1月15日(水) 3、4限	稲葉大輔准教授 岸光男准教授 阿部晶子講師 相澤文恵助教 南健太郎助教	<b>環境衛生実習</b> 環境衛生について理解する。	1. 水質検査ができる。 2. 感覚温度を求めることができる。 3. 空気の成分が測定できる。
1月29日(水) 3、4限	相澤文恵助教 南健太郎助教	<b>栄養学実習</b> 栄養と健康について理解する。	1. 自分の食生活を評価できる。 2. 食事指導のプログラムが作成できる。 3. 食生活指導ができる。

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	スタンダード衛生・公衆衛生 12版	末高武彦、米満正美、神原正樹、安井利一、荒川浩久 編	学建書院	2011年
教	食品成分表 2013	香川芳子監修	女子栄養大学出版部	2013年
参	国民衛生の動向	厚生統計協会編	厚生統計協会	2012年

成績評価方法

定期試験 90% レポート 10%
-------------------

オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
稲葉大輔	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
岸 光男	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言の上、必要があればアポイントをとること。
阿部晶子	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
相澤文恵	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
南健太郎	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[衛生・公衆衛生学]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
複写機 MEDIOir3300F	1	基礎実習・研究用機器	資料の作成・印刷
ノートパソコン LetsnoteB3ノート CF-E5KW8AAXS	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式 ThinkPadT43P266 8-Q2J	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
簡易設置型100スクリーン	1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
インテリジェントプロジェクター ip40B	1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
ノートパソコン MacBook	1	視聴覚用機器	講義資料作製用
ノートパソコン・Let's note 一式	1	視聴覚用機器	講義用